

最新調査成果が語る新潟市の歴史

新潟市遺跡発掘調査 速報会2023



まるき
丸木弓出土状況(茶院A遺跡)

2024年2月25日(日)

13:00~15:40(12:30開場)

参加費
無料

講演 | (13:10~14:40)

「出土文字資料から
探る古代の新潟」

相澤 央氏(帝京大学教授)

報告 | (14:50~15:40)

ちゃいん
茶院A遺跡(西蒲区)
どいうち
土居内遺跡(江南区)
会場で出土品を展示します



会場 新潟市民プラザ(中央区西堀通6番町866番地)
NEXT21ビル6階

定員 400名(先着)

申込み不要

当日はオンラインで同時配信

オンライン
視聴の
申込方法

右の2次元コードを読み取り、
申込みサイトからお申込みください。
申込期限 2月21日(水)17:00まで



新潟市遺跡発掘調査速報会2023



講演 | (13:10~14:40)

「出土文字資料から探る古代の新潟」

相澤 央氏(帝京大学教授)



報告 | (14:50~15:40)

茶院A遺跡(西蒲区) よみがえる古代の農村風景

今井 さやか(新潟市文化財センター)

今年度の調査成果から、南北に細長く延びる微高地に住居や倉庫、その両側の低地に水田という、古代の集落の姿が見えてきました。その後、古代の低地を埋め立てて整地し、屋敷地を作った15世紀の様子が新たにわかってきました。奈良・平安時代、鎌倉・室町時代と長期間にわたって人々の生活痕跡があったことから、かなり住みやすい環境だったと言えるでしょう。新潟市の当時の時代背景を交えて調査成果を解説します。



古代の水田と畦

土居内遺跡(江南区) 古代の川辺の村と橋

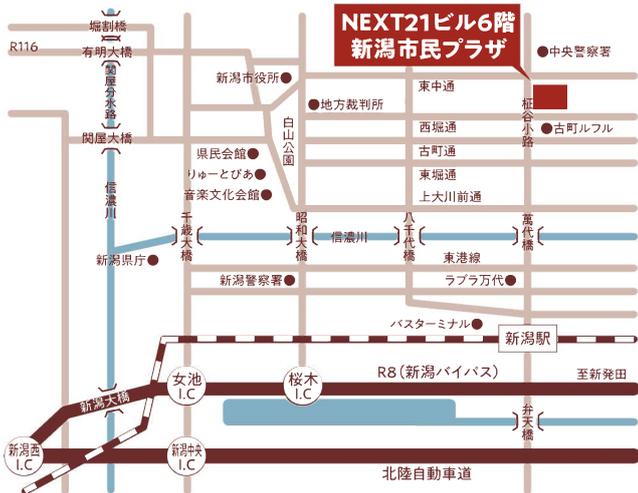
長谷川 眞志(新潟市文化財センター)

栈橋さんぼしと考えられる橋脚や杭列、倉庫と考えられる総柱建物そうばしら、溝などが見つかりました。奈良時代を中心とする土師器はじきや須恵器すゑき、木製品が出土しています。木簡や墨書土器のほか、硯すずりに転用された須恵器の有台杯なども出土しています。当時の河川に沿って南北方向に延びる自然堤防上に営まれた村の跡で、舟を使った水上交通で物資を運んでいたことがうかがわれる遺跡です。



橋脚

会場で出土品を展示します



会場のご案内

新潟市民プラザ

新潟市中央区西堀通6番町866番地 NEXT21ビル6階

交通

JR新潟駅万代口(北口)駅前バスターミナルより萬代橋ライン(BRT)、浜浦町線、信濃町線、鳥屋野線、有明線、西小針線で「古町」バス停下車 徒歩1分 ※専用駐車場はございません。提携駐車場については市民プラザHPをご確認ください。

主催・お問い合わせ

新潟市文化財センター

〒950-1122 新潟市西区木場2748-1

TEL 025-378-0480 FAX 025-378-0484

E-mail bunkazai@city.niigata.lg.jp